

1 人口動態統計の概況

我が国では、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の5種類の「人口動態事象」について、人口動態統計を作成している。

出生・死亡・婚姻及び離婚については「戸籍法」により、死産については「死産の届出に関する規程」によって、それぞれ市区町村長に届け出られる。市区町村長は、これらの届書及び出生証明書・死亡診断書・死産証書等の関係書類に基づいて「人口動態調査票」を作成する。調査票は、地域保健活動の基礎資料として利用されるため、保健所長を経由して都道府県知事に提出され、さらに厚生労働大臣に提出される。厚生労働省では、これらの調査票を集計して人口動態統計を作成している。

本県及び全国における平成30(2018)年の人口動態の概況は、表1、表2に示すとおりである。

表1 栃木県人口動態の概況

	実数			率					平均発生間隔
	平成30年 2018 (A)	平成29年 2017 (B)	増減 (A-B)	平成30年 2018 (C)	全国順位	平成29年 2017 (D)	全国順位	増減 (C-D)	平成30年 2018
出生	13,495	14,029	▲ 534	7.0	28	7.3	24	▲ 0.3	38分 57秒
死亡	21,885	21,829	56	11.4	32	11.3	32	0.1	24分 1秒
自然増減	▲ 8,390	▲ 7,800	▲ 590	▲ 4.4	18	▲ 4.0	17	▲ 0.4	—
乳児死亡	35	26	9	2.6	3	1.9	25	0.7	250時間 17分 9秒
新生児死亡	15	12	3	1.1	12	0.9	25	0.2	584時間
死産	286	329	▲ 43	20.8	27	22.9	10	▲ 2.1	30時間 37分 46秒
周産期死亡	54	41	13	4.0	8	2.9	39	1.1	162時間 13分 20秒
婚姻	8,182	8,787	▲ 605	4.3	26	4.6	16	▲ 0.3	1時間 4分 14秒
離婚	3,092	3,215	▲ 123	1.61	26	1.67	21	▲ 0.06	2時間 49分 59秒

注: 率算出に用いた人口 人口推計(平成30(2018)年10月1日現在)(総務省統計局) 日本人人口(栃木県) 1,919,000人

	平成30年 2018		平成29年 2017		増減	
	率	全国順位	率	全国順位	率	全国順位
合計特殊出生率	1.44	32	1.45	35	▲ 0.01	3位↗

注: 率算出に用いた人口 人口推計(平成30(2018)年10月1日現在)(総務省統計局) 5歳階級別の女性の日本人人口(栃木県)

表2 全国人口動態統計の概況

	実数			率			平均発生間隔
	平成30年 2018 (A)	平成29年 2017 (B)	増減 (A-B)	平成30年 2018 (C)	平成29年 2017 (D)	増減 (C-D)	平成30年 2018
出生	918,400	946,146	▲ 27,746	7.4	7.6	▲ 0.2	34秒
死亡	1,362,470	1,340,567	21,903	11.0	10.8	0.2	23秒
自然増減	▲ 444,070	▲ 394,421	▲ 49,649	▲ 3.6	▲ 3.2	▲ 0.4	—
乳児死亡	1,748	1,762	▲ 14	1.9	1.9	0.0	5時間 00分 41秒
新生児死亡	801	833	▲ 32	0.9	0.9	0.0	10時間 56分 11秒
死産	19,614	20,364	▲ 750	20.9	21.1	▲ 0.2	26分 48秒
周産期死亡	2,999	3,309	▲ 310	3.3	3.5	▲ 0.2	2時間 55分 16秒
婚姻	586,481	606,952	▲ 20,471	4.7	4.9	▲ 0.2	54秒
離婚	208,333	212,296	▲ 3,963	1.68	1.70	▲ 0.02	2分 31秒

注: 率算出に用いた人口 人口推計(平成30(2018)年10月1日現在)(総務省統計局) 日本人人口(全国) 124,218,285人

	平成30年 2018	平成29年 2017	増減
合計特殊出生率	1.42	1.43	▲ 0.01

注: 率算出に用いた人口 人口推計(平成30(2018)年10月1日現在)(総務省統計局) 各歳別の女性の日本人人口(全国)

2 出 生

(1) 出生数及び出生率

出生数は13,495人で前年の14,029人より534人減少し、出生率（人口千対）は7.0で前年の7.3を0.3下回った。

出生率を年次推移で見ると、昭和48(1973)年の19.3から減少を続け、平成7(1995)年以降9点台で前年比増減を繰り返していたが平成17(2005)年以降は8点台を推移し、平成25(2013)年から7.9と初めて8点台を下回った。

(2) 都道府県別にみた出生率

都道府県別に出生率をみると、本県の7.0は全国で28位であり、全国の7.4を0.4下回った。出生率の最も高い都道府県は沖縄県の11.0で、次いで愛知県の8.4、福岡県の8.3となっている。また、最も低い都道府県は秋田県の5.2で、次いで岩手県の6.2、青森県の6.2となっている。

3 死 亡

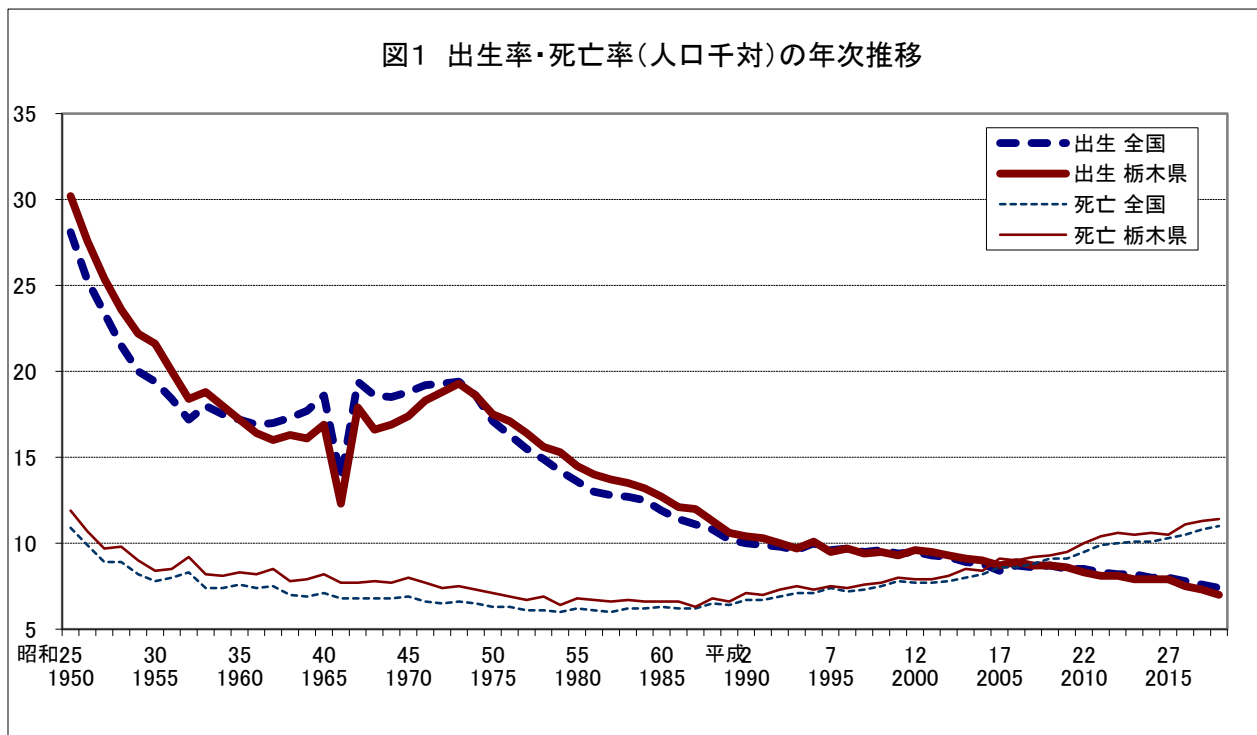
(1) 死亡数及び死亡率

死亡数は21,885人で前年の21,829人より56人増加し、死亡率（人口千対）は11.4で前年の11.3を0.1上回った。

死亡率を年次推移で見ると、昭和62(1987)年に過去最低の6.3まで低下した後、前年比増減を繰り返しながらゆるやかに上昇してきている。

(2) 都道府県別にみた死亡率

都道府県別に死亡率をみると、本県の11.4は全国で32位であり、全国の11.0を0.4上回った。死亡率の最も高い都道府県は秋田県の15.8で、次いで高知県の14.6、島根県の14.5となっている。また、最も低い都道府県は沖縄県の8.5で、次いで東京都の8.9、神奈川県9.2となっている。



資料：人口動態統計

(3) 死因別死亡

栃木県の死因順位を性別にみると、男性は第1位が悪性新生物<腫瘍>、第2位が心疾患、第3位が脳血管疾患、女性は第1位が悪性新生物<腫瘍>、第2位が心疾患、第3位が老衰であった。

表3 性別死因順位、死亡数・率（人口10万対）の全国比較

[総数] 平成30(2018)年

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総数			21,885	1140.4	100.0	1,362,470	1096.8	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	5,789	301.7	26.5	373,584	300.7	27.4
2	2	心 疾 患	3,549	184.9	16.2	208,221	167.6	15.3
3	4	脳 血 管 疾 患	2,116	110.3	9.7	108,186	87.1	7.9
4	3	老 衰	1,963	102.3	9.0	109,605	88.2	8.0
5	5	肺 炎	1,479	77.1	6.8	94,661	76.2	6.9
6	6	不慮の事故	577	30.1	2.6	41,238	33.2	3.0
7	7	誤嚥性肺炎	450	23.4	2.1	38,460	31.0	2.8
8	9	血管性等の認知症	412	21.5	1.9	20,521	16.5	1.5
9	8	腎不全	407	21.2	1.9	26,081	21.0	1.9
10	12	アルツハイマー病	345	18.0	1.6	19,095	15.4	1.4

[男]

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総数			11,219	1172.3	100.0	699,138	1156.5	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	3,425	357.9	30.5	218,625	361.6	31.3
2	2	心 疾 患	1,761	184.0	15.7	98,035	162.2	14.0
3	3	脳 血 管 疾 患	1,005	105.0	9.0	52,398	86.7	7.5
4	4	肺 炎	783	81.8	7.0	52,158	86.3	7.5
5	5	老 衰	508	53.1	4.5	28,200	46.6	4.0
6	6	不慮の事故	360	37.6	3.2	23,675	39.2	3.4
7	7	誤嚥性肺炎	249	26.0	2.2	21,652	35.8	3.1
8	11	間質性肺疾患	219	22.9	2.0	12,500	20.7	1.8
9	9	自殺	215	22.5	1.9	13,851	22.9	2.0
10	10	腎不全	213	22.3	1.9	13,230	21.9	1.9

[女]

栃木県	全 国	死 因	栃 木 県			全 国		
死 因 順 位			死 亡 数	死 亡 率	割 合	死 亡 数	死 亡 率	割 合
総数			10,666	1108.7	100.0	663,332	1040.3	100.0
1	1	悪性新生物<腫瘍>	2,364	245.7	22.2	154,959	243.0	23.4
2	2	心 疾 患	1,788	185.9	16.8	110,186	172.8	16.6
3	3	老 衰	1,455	151.2	13.6	81,405	127.7	12.3
4	4	脳 血 管 疾 患	1,111	115.5	10.4	55,788	87.5	8.4
5	5	肺 炎	696	72.3	6.5	42,503	66.7	6.4
6	8	血管性等の認知症	264	27.4	2.5	13,144	20.6	2.0
7	10	アルツハイマー病	250	26.0	2.3	12,437	19.5	1.9
8	6	不慮の事故	217	22.6	2.0	17,563	27.5	2.6
9	7	誤嚥性肺炎	201	20.9	1.9	16,808	26.4	2.5
10	9	腎不全	194	20.2	1.8	12,851	20.2	1.9

注：1) 率算出に用いた人口 「人口推計（平成30年10月1日現在）」（総務省統計局）
 全 国 総数 124,218,285 人
 男 60,454,898 人
 女 63,763,387 人
 栃木県 総数 1,919,000 人
 男 957,000 人
 女 962,000 人

2) 割合は死亡総数に対するものである。

3) 「心疾患」は「心疾患（高血圧性を除く）」、「血管性等の認知症」は「血管性及び詳細不明の認知症」である。

(4) 三大死因

死亡数を三大死因別にみると、悪性新生物<腫瘍>は 5,789人で前年より3人減少、心疾患は3,549人で前年より52人減少、脳血管疾患は 2,116人で前年より117人減少となった。

表4 三大死因死亡数・率（人口10万対）の年次推移（栃木県）

	三大死因計		悪性新生物<腫瘍>		心疾患		脳血管疾患	
	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和 30 (1955) 年	5,011	323.8	1,294	83.6	1,140	73.7	2,577	166.5
35 (1960)	5,943	392.6	1,689	111.6	1,304	86.2	2,950	194.9
40 (1965)	6,697	440.1	1,773	116.5	1,425	93.6	3,499	229.9
45 (1970)	7,213	457.0	1,891	119.8	1,536	97.3	3,786	239.9
50 (1975)	7,202	424.1	2,096	123.4	1,557	91.7	3,549	209.0
55 (1980)	7,750	430.9	2,424	134.8	1,936	107.6	3,390	188.5
60 (1985)	7,844	416.4	2,800	148.6	2,207	117.2	2,837	150.6
平成 2 (1990)	8,402	436.3	3,302	171.5	2,617	135.9	2,483	128.9
7 (1995)	8,979	456.9	3,974	202.2	2,221	113.0	2,784	141.6
10 (1998)	9,414	474.3	4,440	223.7	2,365	119.1	2,609	131.4
11 (1999)	9,622	483.8	4,449	223.7	2,558	128.6	2,615	131.5
12 (2000)	9,559	481.9	4,568	230.3	2,497	125.9	2,494	125.7
13 (2001)	9,745	490.4	4,659	234.5	2,494	125.5	2,592	130.4
14 (2002)	9,803	493.6	4,633	233.3	2,547	128.2	2,623	132.1
15 (2003)	10,280	517.6	4,918	247.6	2,713	136.6	2,649	133.4
16 (2004)	10,175	512.1	4,895	246.4	2,774	139.6	2,506	126.1
17 (2005)	10,668	536.0	4,989	250.7	3,046	153.0	2,633	132.3
18 (2006)	10,624	534.4	5,167	259.9	2,968	149.3	2,489	125.2
19 (2007)	10,799	544.0	5,293	266.6	3,022	152.2	2,484	125.1
20 (2008)	10,711	540.7	5,248	264.9	3,081	155.5	2,382	120.2
21 (2009)	10,815	547.0	5,257	265.9	3,167	160.2	2,391	120.9
22 (2010)	11,168	563.8	5,444	274.8	3,332	168.2	2,392	120.8
23 (2011)	11,398	577.1	5,535	280.3	3,437	174.0	2,426	122.8
24 (2012)	11,623	590.6	5,613	285.2	3,547	180.2	2,463	125.2
25 (2013)	11,209	571.6	5,628	287.0	3,339	170.3	2,242	114.3
26 (2014)	11,292	577.9	5,713	292.4	3,382	173.1	2,197	112.4
27 (2015)	11,134	571.7	5,506	282.7	3,386	173.9	2,242	115.1
28 (2016)	11,499	593.1	5,849	301.7	3,441	177.5	2,209	113.9
29 (2017)	11,626	602.4	5,792	300.1	3,601	186.6	2,233	115.7
30 (2018)	11,454	596.9	5,789	301.7	3,549	184.9	2,116	110.3

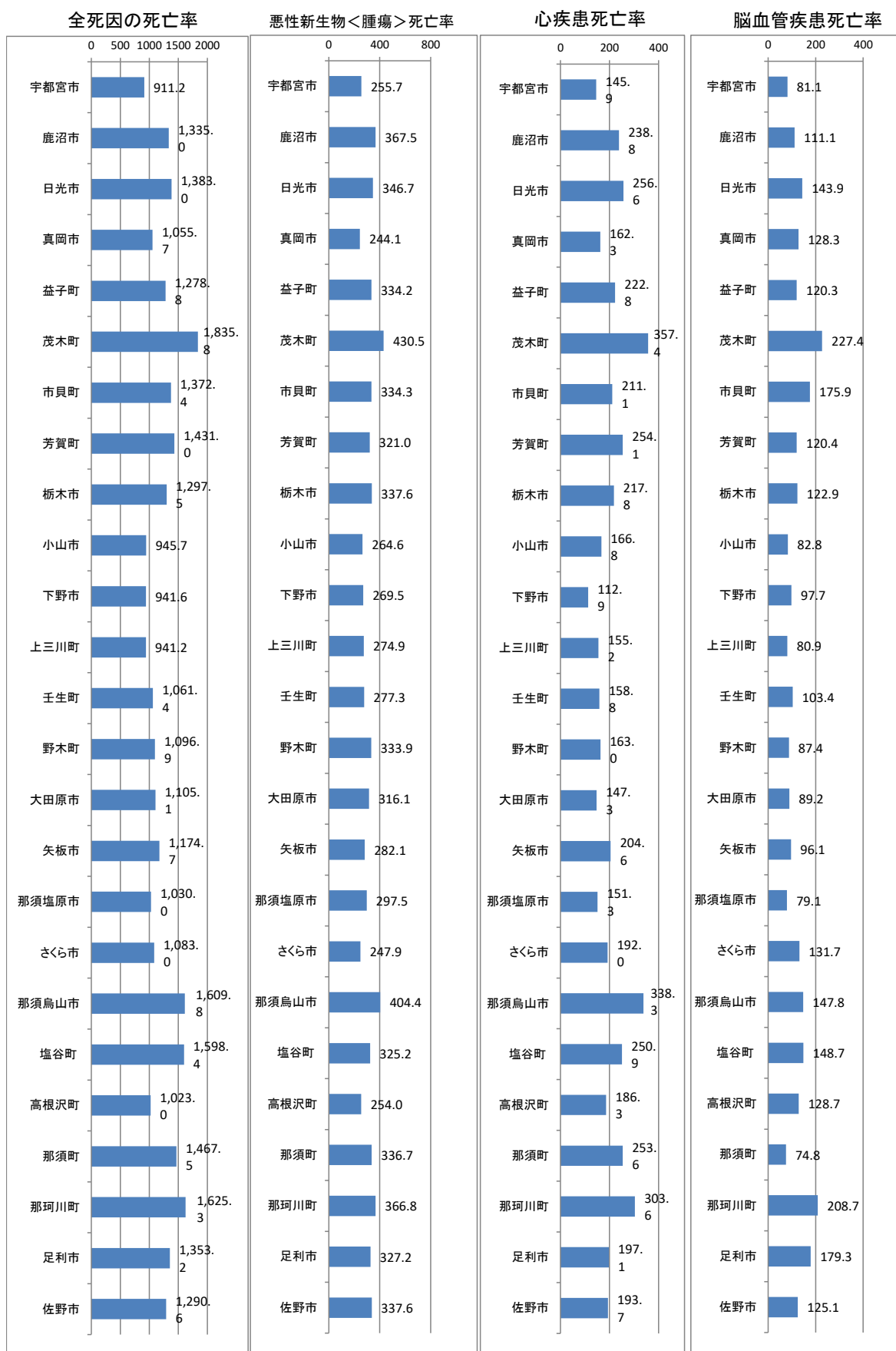
表5 三大死因死亡数・率（人口10万対）の年次推移（全国）

	三大死因計		悪性新生物<腫瘍>		心疾患		脳血管疾患	
	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和 30 (1955) 年	243,576	284.0	77,721	87.1	54,351	60.9	111,504	136.1
35 (1960)	312,282	334.3	93,773	100.4	68,400	73.2	150,109	160.7
40 (1965)	354,981	361.2	106,536	108.4	75,672	77.0	172,773	175.8
45 (1970)	390,703	378.9	119,977	116.3	89,411	86.7	181,315	175.8
50 (1975)	409,976	368.5	136,383	122.6	99,226	89.2	174,367	156.7
55 (1980)	447,586	384.8	161,764	139.1	123,505	106.2	162,317	139.5
60 (1985)	463,805	385.6	187,714	156.1	141,097	117.3	134,994	112.2
平成 2 (1990)	504,835	411.4	217,413	177.2	165,478	134.8	121,944	99.4
7 (1995)	548,780	440.0	263,022	211.6	139,206	112.0	146,552	117.9
10 (1998)	564,860	451.0	283,921	226.7	143,120	114.3	137,819	110.0
11 (1999)	580,624	462.8	290,556	231.6	151,079	120.4	138,989	110.8
12 (2000)	574,754	457.6	295,484	235.2	146,741	116.8	132,529	105.5
13 (2001)	580,806	461.3	300,658	238.8	148,292	117.8	131,856	104.7
14 (2002)	587,343	466.1	304,568	241.7	152,518	121.0	130,257	103.4
15 (2003)	601,155	476.6	309,543	245.4	159,545	126.5	132,067	104.7
16 (2004)	609,038	482.7	320,358	253.9	159,625	126.5	129,055	102.3
17 (2005)	631,913	500.7	325,941	258.3	173,125	137.2	132,847	105.3
18 (2006)	630,606	499.9	329,314	261.0	173,024	137.2	128,268	101.7
19 (2007)	639,048	506.8	336,468	266.6	175,539	139.2	127,041	100.8
20 (2008)	651,914	517.6	342,963	272.3	181,928	144.4	127,023	100.9
21 (2009)	647,200	514.4	344,105	273.5	180,745	143.7	122,350	97.2
22 (2010)	666,320	527.2	353,499	279.7	189,360	149.8	123,461	97.7
23 (2011)	676,098	535.8	357,305	283.2	194,926	154.5	123,867	98.2
24 (2012)	681,401	541.0	360,963	286.6	198,836	157.9	121,602	96.5
25 (2013)	679,942	540.9	364,872	290.3	196,723	156.5	118,347	94.1
26 (2014)	679,235	541.5	368,103	293.5	196,925	157.0	114,207	91.1
27 (2015)	678,432	541.4	370,346	295.5	196,113	156.5	111,973	89.4
28 (2016)	680,312	544.1	372,986	298.3	198,006	158.4	109,320	87.4
29 (2017)	688,051	552.0	373,334	299.5	204,837	164.3	109,880	88.2
30 (2018)	689,991	555.4	373,584	300.7	208,221	167.6	108,186	87.1

注：率算出に用いた人口 人口推計（平成30年10月1日現在）（総務省統計局）

資料：人口動態統計

図2 市町村別三大死因の死亡率(人口10万対)(平成30(2018)年)



* 資料:3統計表 第1章人口動態統計 第10節特定死因 第1-10-6表 より

表6 死因順位及び死亡率（人口10万対）の年次推移（栃木県）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	第8位	第9位	第10位
昭和30 (1955)	中枢神経系の血管損傷 166.5	悪性新生物 83.6	心臓の疾患 73.7	老衰 64.0	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 46.5	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 44.7	全結核 39.6	肺炎 34.8	不慮の障害 30.7	自殺及び自傷 22.9
35 (1960)	中枢神経系の血管損傷 194.9	悪性新生物 111.6	心臓の疾患 86.2	肺炎・気管支炎 57.3	老衰 41.2	不慮の事故 40.8	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 32.4	全結核 22.7	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 20.7	腎炎・ネフローゼ 19.7
40 (1965)	中枢神経系の血管損傷 229.0	悪性新生物 116.5	心臓の疾患 93.6	不慮の事故 43.2	老衰 42.8	肺炎・気管支炎 41.8	高血圧性疾患 23.2	胃炎,十二指腸炎,腸炎,大腸炎 21.7	全結核 16.1	新生児固有の疾患,性質不明の未熟児 14.5
45 (1970)	脳血管疾患 239.9	悪性新生物 119.8	心疾患 97.3	不慮の事故 54.1	肺炎・気管支炎 47.9	老衰 33.6	喘息 15.3	高血圧性疾患 14.7	自殺 14.2	全結核 13.1
50 (1975)	脳血管疾患 209.0	悪性新生物 123.4	心疾患 91.7	肺炎・気管支炎 42.6	不慮の事故 37.8	老衰 24.9	高血圧性疾患 18.4	自殺 17.3	肝硬変 12.0	喘息 11.5
55 (1980)	脳血管疾患 188.5	悪性新生物 134.8	心疾患 107.6	肺炎・気管支炎 37.5	不慮の事故 30.4	老衰 24.5	自殺 19.1	肝硬変 13.3	高血圧性疾患 12.7	腎炎・ネフローゼ 7.7
60 (1985)	脳血管疾患 150.6	悪性新生物 148.6	心疾患 117.2	肺炎・気管支炎 42.4	不慮の事故 27.4	自殺 21.9	老衰 20.5	肝硬変 12.8	高血圧性疾患 11.4	腎炎・ネフローゼ症候群及びネフローゼ 8.7
平成2 (1990)	悪性新生物 171.5	心疾患 135.9	脳血管疾患 128.9	肺炎・気管支炎 66.3	不慮の事故 30.0	老衰 22.6	自殺 18.5	肝硬変 13.2	腎炎・ネフローゼ症候群及びネフローゼ 10.7	高血圧性疾患 8.5
7 (1995)	悪性新生物 202.2	脳血管疾患 141.6	心疾患 113.0	肺炎 63.7	不慮の事故 31.9	自殺 18.7	老衰 17.2	肝疾患 13.0	糖尿病 12.3	慢性閉塞性肺疾患 12.1
12 (2000)	悪性新生物 230.3	心疾患 125.9	脳血管疾患 125.7	肺炎 72.8	不慮の事故 32.1	自殺 25.6	老衰 18.6	肝疾患 12.7	腎不全 11.0	慢性閉塞性肺疾患 11.0
15 (2003)	悪性新生物 247.6	心疾患 136.6	脳血管疾患 133.4	肺炎 78.5	不慮の事故 30.0	自殺 26.3	老衰 21.0	腎不全 16.2	肝疾患 12.2	糖尿病 12.1
16 (2004)	悪性新生物 246.4	心疾患 140	脳血管疾患 126.1	肺炎 79.9	不慮の事故 30.1	自殺 22.5	老衰 20.4	腎不全 16.1	糖尿病 12.5	肝疾患 12.1
17 (2005)	悪性新生物 250.7	心疾患 153	脳血管疾患 132.3	肺炎 96.2	不慮の事故 34.4	老衰 26.8	自殺 24.9	腎不全 15.4	肝疾患 13.5	糖尿病 11.2
18 (2006)	悪性新生物 259.9	心疾患 149.3	脳血管疾患 125.2	肺炎 89.9	不慮の事故 31.3	老衰 29	自殺 24.8	腎不全 17.2	肝疾患 13.7	糖尿病 13
19 (2007)	悪性新生物 266.6	心疾患 152.2	脳血管疾患 125.1	肺炎 90.5	不慮の事故 29.9	老衰 29.2	自殺 26.6	腎不全 16.2	肝疾患 13.2	糖尿病 12.2
20 (2008)	悪性新生物 264.9	心疾患 155.5	脳血管疾患 120.2	肺炎 96.8	老衰 37.1	不慮の事故 29.4	自殺 26.8	腎不全 18.1	糖尿病 11.8	慢性閉塞性肺疾患 11.5
21 (2009)	悪性新生物 265.9	心疾患 160.2	脳血管疾患 120.9	肺炎 95.3	老衰 36.5	不慮の事故 29.4	自殺 27.8	腎不全 17.4	肝疾患 13.1	糖尿病 12.4
22 (2010)	悪性新生物 274.8	心疾患 168.2	脳血管疾患 120.8	肺炎 102.8	老衰 42.0	不慮の事故 33.3	自殺 25.0	腎不全 17.7	慢性閉塞性肺疾患 13.5	肝疾患 13.2
23 (2011)	悪性新生物 280.3	心疾患 174.0	脳血管疾患 122.8	肺炎 111.6	老衰 49.8	不慮の事故 30.1	自殺 24.3	腎不全 20.2	慢性閉塞性肺疾患 13.9	肝疾患 13.4
24 (2012)	悪性新生物 285.2	心疾患 180.2	脳血管疾患 125.2	肺炎 101.4	老衰 59.6	不慮の事故 28.5	自殺 22.8	腎不全 20.1	肝疾患 14.6	慢性閉塞性肺疾患 14.1
25 (2013)	悪性新生物 287.0	心疾患 170.3	脳血管疾患 114.3	肺炎 101.6	老衰 68.0	不慮の事故 27.7	自殺 22.6	腎不全 19.5	大動脈瘤及び解離 14.3	肝疾患 13.8
26 (2014)	悪性新生物 292.4	心疾患 173.1	脳血管疾患 112.4	肺炎 101.3	老衰 67.4	不慮の事故 28.3	自殺 20.1	腎不全 19.4	慢性閉塞性肺疾患及び解離 14.2	大動脈瘤及び解離 13.8
27 (2015)	悪性新生物 282.7	心疾患 173.9	脳血管疾患 115.1	肺炎 98.5	老衰 71.9	不慮の事故 27.1	腎不全 21.1	自殺 19.5	大動脈瘤及び解離 15.3	血管性及び詳細不明の症 12.8
28 (2016)	悪性新生物 301.7	心疾患 177.5	脳血管疾患 113.9	肺炎 96.5	老衰 85.1	不慮の事故 26.7	腎不全 21.4	自殺 18.9	大動脈瘤及び解離 15.5	血管性及び詳細不明の症 14.4
29 (2017)	悪性新生物<腫瘍> 300.1	心疾患 186.6	脳血管疾患 115.7	老衰 94.1	肺炎 77.6	不慮の事故 28.9	誤嚥性肺炎 21.5	血管性及び詳細不明の症 21.1	腎不全 21.1	自殺 18.1
30 (2018)	悪性新生物<腫瘍> 301.7	心疾患 184.9	脳血管疾患 110.3	老衰 102.3	肺炎 77.1	不慮の事故 30.1	誤嚥性肺炎 23.4	血管性等の認知症 21.5	腎不全 21.2	アルツハイマー病 18.0

4 乳児死亡及び新生児死亡

(1) 乳児死亡数及び乳児死亡率、新生児死亡数及び新生児死亡率

乳児死亡数は35人で前年の26人より9人増加し、乳児死亡率（出生千対）は2.6で、前年の1.9を0.7上回った。

また、乳児死亡のうち新生児死亡数は15人で前年の12人より3人増加し、新生児死亡率（出生千対）は1.1で、前年の0.9を0.2上回った。

乳児死亡率及び新生児死亡率を年次推移でみると、両率とも概ね減少傾向が続いている。

(2) 都道府県別にみた乳児死亡率及び新生児死亡率

都道府県別に乳児死亡率をみると、本県の2.6は全国3位であり、全国の1.9を0.7上回った。

乳児死亡率の高い都道府県は岩手県の3.0で、次いで茨城県の2.6となっている。

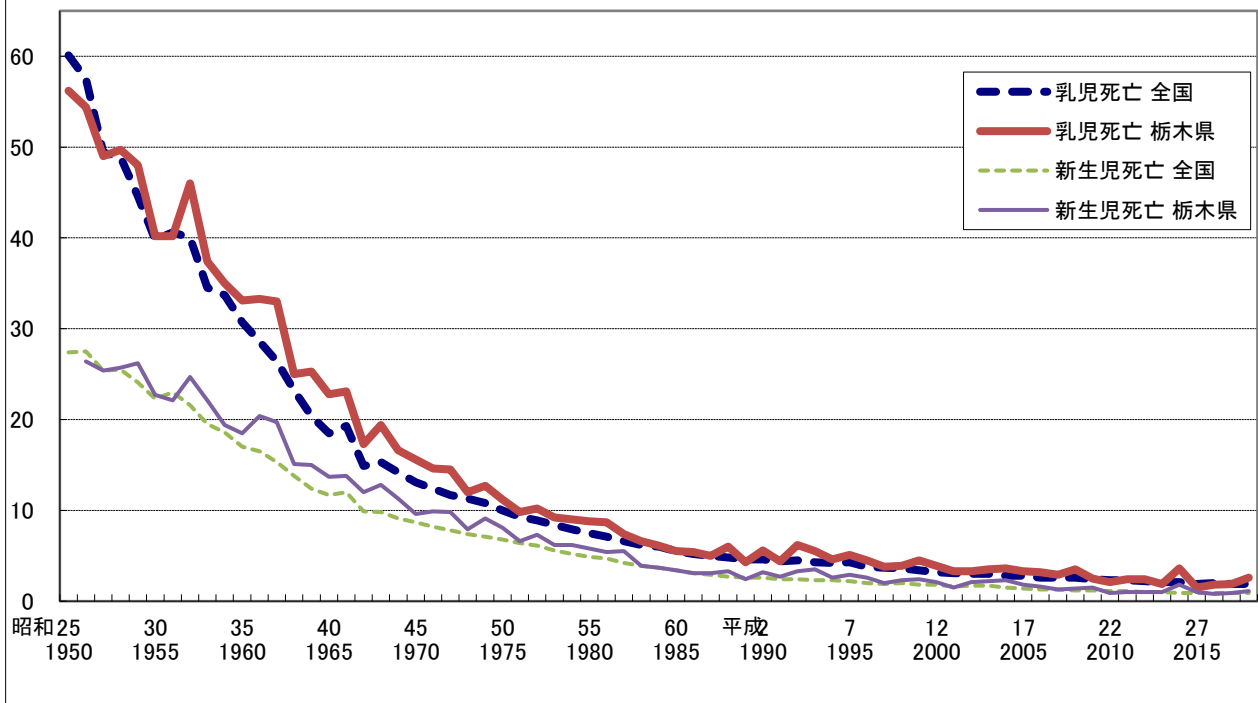
また、最も低い都道府県は山梨県の0.7で、次いで佐賀県の0.9となっている。

新生児死亡率については、本県の1.1は全国12位であり、全国の0.9を0.2上回った。

新生児死亡率の高い都道府県は秋田県の1.8で、次いで岡山県の1.4となっている。

また、最も低い都道府県は佐賀県の0で、次いで愛媛県の0.3となっている。

図3 乳児死亡・新生児死亡(出生千対)



5 死 産

(1) 死産数及び死産率

死産数は286胎で前年の329胎より43胎減少し、死産率(出産(出生+死産)千対)は20.8で、前年の22.9を2.1下回った。

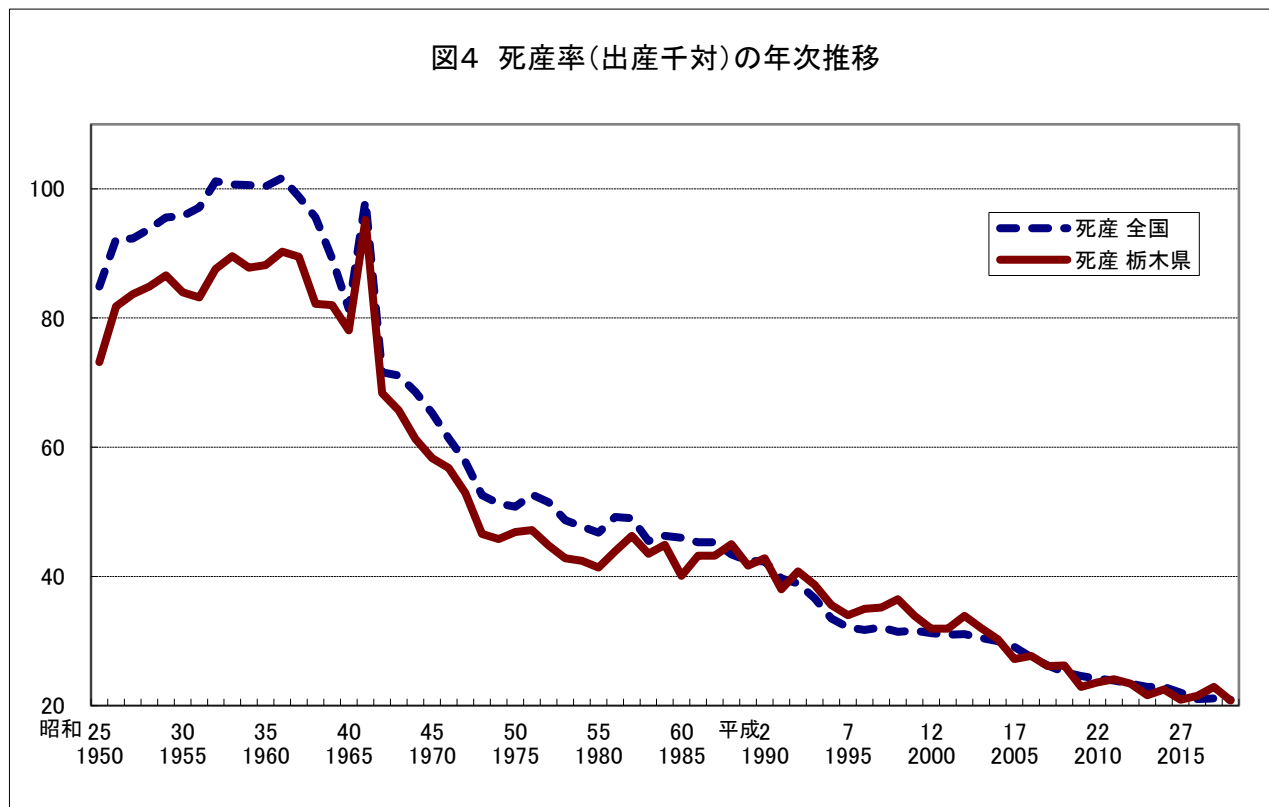
死産率を年次推移でみると、昭和41(1966)年の95.2をピークに減少してきている。

(2) 都道府県別にみた死産率

都道府県別に死産率をみると、本県の20.8は全国で27位であり、全国の20.9を0.1下回った。

死産率の最も高い都道府県は北海道の26.3で、次いで山梨県の25.4となっている。

また、最も低い都道府県は石川県の16.6で、次いで長野県の17.5となっている。



6 婚 姻

(1) 婚姻数及び婚姻率

婚姻数は8,182組で前年の8,787組より605組減少し、婚姻率(人口千対)は4.3で前年の4.6を0.3下回った。

婚姻率を年次推移でみると、昭和22(1947)年の12.1をピークに減少を続け、昭和62(1987)～平成元(1989)年に5.6となった後は微増したが、平成12(2000)年及び平成13(2001)年の6.4を境にまた減少に転じ、本年は過去最低の4.3となった。

(2) 都道府県別にみた婚姻率

都道府県別に婚姻率をみると、本県の4.3は全国で26位であり、全国の4.7を0.4下回った。

婚姻率の最も高い都道府県は東京都の6.2で、次いで沖縄県の5.5となっている。

また、最も低い都道府県は秋田県の3.1で、次いで岩手県の3.6となっている。

7 離 婚

(1) 離婚数及び離婚率

離婚数は3,092組で前年の3,215組より123組減少し、離婚率（人口千対）は1.61で前年の1.67を0.06下回った。

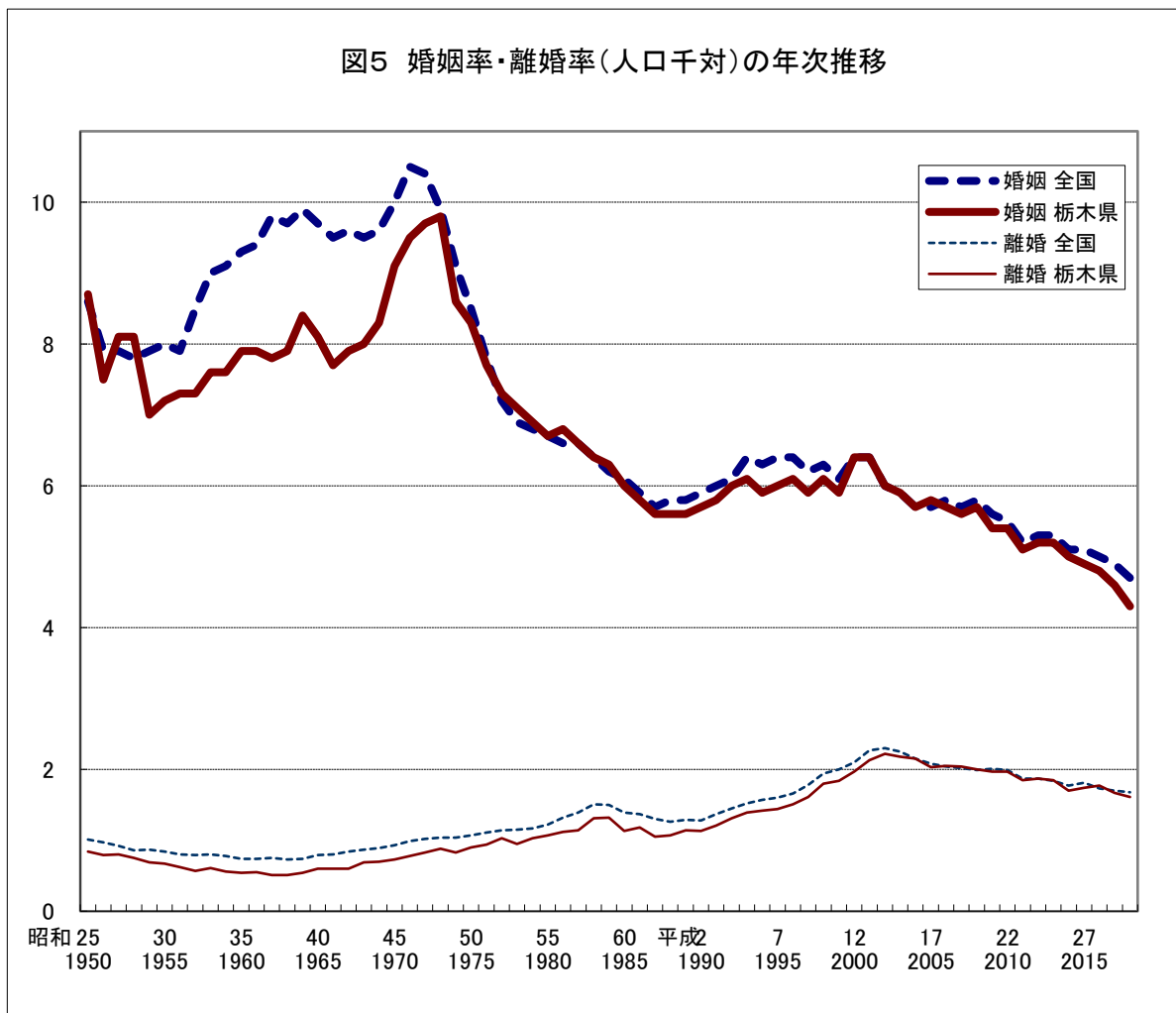
離婚率を年次推移で見ると、平成14(2002)年の2.22をピークとしてそれ以降は減少傾向が続いている。

(2) 都道府県別にみた離婚率

都道府県別に離婚率をみると、本県の1.61は全国で26位であり、全国の1.68を0.07下回った。

離婚率の最も高い都道府県は沖縄県の2.53で、次いで福岡県の1.91となっている。

また、最も低い都道府県は、新潟県の1.26で、次いで秋田県の1.27となっている。



8 生命表

(1) 主な年齢の平均余命

平成30年簡易生命表によると、男の平均寿命は81.25年、女の平均寿命は87.32年となり前年と比較して男は0.16年、女は0.05年上回った。

また、平均寿命の男女差は、6.07年で前年と同程度となっている。（表7）

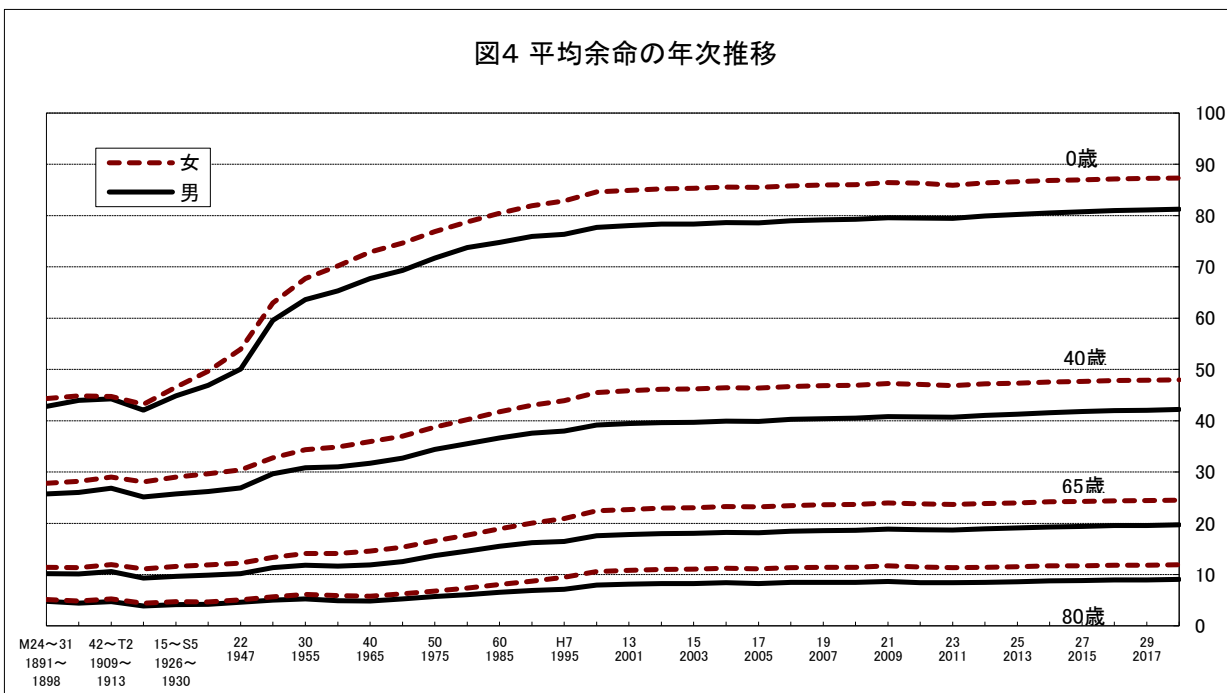
表7 主な年齢の平均余命とその伸び（全国）

（単位：年）

年齢	男			女			男女差（女-男）		
	H30年 (2018) (A)	H29年 (2017) (B)	伸び (A-B)	H30年 (2018) (C)	H29年 (2017) (D)	伸び (C-D)	H30年 (2018) E (C-A)	H29年 (2017) F (D-B)	差 (E-F)
0歳	81.25	81.09	0.16	87.32	87.26	0.05	6.07	6.17	△ 0.10
5歳	76.47	76.30	0.16	82.53	82.48	0.05	6.06	6.18	△ 0.12
10歳	71.49	71.33	0.16	77.56	77.50	0.05	6.07	6.17	△ 0.10
15歳	66.53	66.37	0.16	72.58	72.52	0.06	6.05	6.15	△ 0.10
20歳	61.61	61.45	0.16	67.63	67.57	0.07	6.02	6.12	△ 0.10
25歳	56.74	56.59	0.15	62.70	62.63	0.07	5.96	6.04	△ 0.08
30歳	51.88	51.73	0.15	57.77	57.70	0.07	5.89	5.97	△ 0.08
35歳	47.03	46.88	0.15	52.86	52.79	0.07	5.83	5.91	△ 0.08
40歳	42.20	42.05	0.15	47.97	47.90	0.07	5.77	5.85	△ 0.08
45歳	37.42	37.28	0.14	43.13	43.06	0.07	5.71	5.78	△ 0.07
50歳	32.74	32.61	0.13	38.36	38.29	0.07	5.62	5.68	△ 0.06
55歳	28.21	28.08	0.13	33.66	33.59	0.07	5.45	5.51	△ 0.06
60歳	23.84	23.72	0.12	29.04	28.97	0.07	5.20	5.25	△ 0.05
65歳	19.70	19.57	0.13	24.50	24.43	0.07	4.80	4.86	△ 0.06
70歳	15.84	15.73	0.11	20.10	20.03	0.07	4.26	4.30	△ 0.04
75歳	12.29	12.18	0.11	15.86	15.79	0.07	3.57	3.61	△ 0.04
80歳	9.06	8.95	0.12	11.91	11.84	0.08	2.85	2.89	△ 0.04
85歳	6.35	6.26	0.09	8.44	8.39	0.06	2.09	2.13	△ 0.04
90歳	4.33	4.25	0.08	5.66	5.61	0.05	1.33	1.36	△ 0.03
95歳	2.86	2.81	0.05	3.61	3.59	0.02	0.75	0.78	△ 0.03
100歳	1.82	1.80	0.02	2.31	2.37	-0.06	0.49	0.57	△ 0.08

資料：平成29年、平成30年簡易生命表

図4 平均余命の年次推移



資料：完全生命表、簡易生命表

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び

ある死因で死亡することがなくなったとすると、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この伸びは、その死因のために失われた平均余命としてみる事ができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。

表8 特定死因を除去した場合の平均余命の伸び（0歳・65歳・75歳・90歳）（全国）

（単位：年）

主な死因	年齢	男					女				
		平成26年 2014	27年 2015	28年 2016	29年 2017	30年 2018	平成26年 2014	27年 2015	28年 2016	29年 2017	30年 2018
悪性新生物	0歳	3.80	3.75	3.71	3.62	3.54	2.94	2.90	2.91	2.84	2.84
	65	3.02	2.99	2.96	2.92	2.87	2.00	1.98	1.99	1.96	1.96
	75	2.03	2.00	1.99	1.96	1.95	1.38	1.36	1.38	1.35	1.35
	90	0.58	0.58	0.57	0.55	0.56	0.42	0.42	0.42	0.41	0.41
心疾患 (高血圧性を除く)	0歳	1.46	1.41	1.42	1.40	1.41	1.42	1.35	1.33	1.32	1.31
	65	1.13	1.09	1.09	1.09	1.11	1.34	1.28	1.26	1.25	1.24
	75	0.95	0.92	0.91	0.91	0.92	1.27	1.20	1.19	1.18	1.17
	90	0.62	0.58	0.58	0.58	0.59	0.87	0.83	0.82	0.81	0.81
脳血管疾患	0歳	0.82	0.78	0.76	0.75	0.73	0.80	0.76	0.73	0.71	0.69
	65	0.65	0.62	0.60	0.58	0.57	0.72	0.68	0.64	0.62	0.60
	75	0.56	0.52	0.50	0.49	0.47	0.66	0.62	0.59	0.57	0.54
	90	0.29	0.27	0.25	0.24	0.23	0.41	0.39	0.37	0.35	0.33
肺炎	0歳	0.83	0.81	0.79	0.59	0.57	0.66	0.63	0.60	0.45	0.43
	65	0.84	0.82	0.79	0.60	0.58	0.65	0.63	0.60	0.45	0.43
	75	0.84	0.81	0.78	0.60	0.57	0.64	0.62	0.59	0.45	0.43
	90	0.65	0.62	0.58	0.47	0.44	0.48	0.47	0.43	0.35	0.33
不慮の事故	0歳	0.48	0.46	0.44	0.44	0.44	0.30	0.28	0.27	0.27	0.28
	65	0.23	0.22	0.22	0.22	0.23	0.20	0.19	0.18	0.19	0.19
	75	0.18	0.17	0.17	0.18	0.18	0.16	0.16	0.15	0.16	0.16
	90	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
交通事故(再掲)	0歳	0.13	0.13	0.13	0.11	0.11	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04
	65	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	75	0.02	0.02	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	90	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
自殺	0歳	0.66	0.63	0.58	0.58	0.56	0.31	0.29	0.27	0.27	0.28
	65	0.08	0.07	0.06	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04
	75	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
	90	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
慢性閉塞性 肺疾患 (COPD)	0歳	0.15	0.14	0.14	0.16	0.16	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
	65	0.16	0.15	0.15	0.17	0.17	0.04	0.04	0.03	0.04	0.04
	75	0.15	0.14	0.14	0.16	0.16	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03
	90	0.08	0.08	0.07	0.09	0.09	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
腎不全	0歳	0.15	0.14	0.14	0.14	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14
	65	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.15	0.14	0.14	0.13	0.13
	75	0.13	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13
	90	0.09	0.09	0.08	0.08	0.09	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08
大動脈瘤 及び解離	0歳	0.13	0.13	0.14	0.14	0.14	0.11	0.11	0.12	0.12	0.12
	65	0.10	0.09	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.11	0.11	0.11
	75	0.08	0.07	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.09	0.09	0.09
	90	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.04
肝疾患	0歳	0.21	0.21	0.21	0.22	0.23	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11
	65	0.09	0.09	0.09	0.10	0.10	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07
	75	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
	90	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
糖尿病	0歳	0.11	0.11	0.11	0.12	0.12	0.09	0.08	0.08	0.08	0.08
	65	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	0.07	0.07
	75	0.06	0.06	0.06	0.06	0.06	0.07	0.06	0.06	0.06	0.06
	90	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
高血圧性疾患	0歳	0.04	0.03	0.04	0.05	0.05	0.05	0.04	0.04	0.06	0.05
	65	0.03	0.03	0.03	0.04	0.04	0.05	0.04	0.04	0.06	0.05
	75	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03	0.05	0.04	0.04	0.05	0.05
	90	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
結核	0歳	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	65	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	75	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
	90	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01
3大死因 (悪性新生物) (心疾患) (脳血管疾患)	0歳	7.28	7.06	6.95	6.81	6.70	6.02	5.82	5.74	5.61	5.55
	65	5.88	5.70	5.61	5.52	5.46	4.83	4.67	4.60	4.50	4.45
	75	4.41	4.26	4.18	4.12	4.08	3.99	3.83	3.78	3.69	3.63
	90	1.89	1.80	1.76	1.71	1.72	2.07	1.99	1.95	1.89	1.85

注：3大死因のそれぞれの死因を単独に除去した場合には、その他の2死因は除去されていない（例えば、悪性新生物を除去したとしても心疾患や脳血管疾患での死亡はあるものと考え）ことから、3大死因のそれぞれの死因を除去した場合の平均余命の伸びを合計したものは、3大死因を同時に除去した場合の平均寿命の伸びよりも小さいものとなる。